

木材利用の活動報告

森林認証（SGEC）を活用した「地材地消」の取組

オホーツク総合振興局 西部森林室 普及課 坂本一広

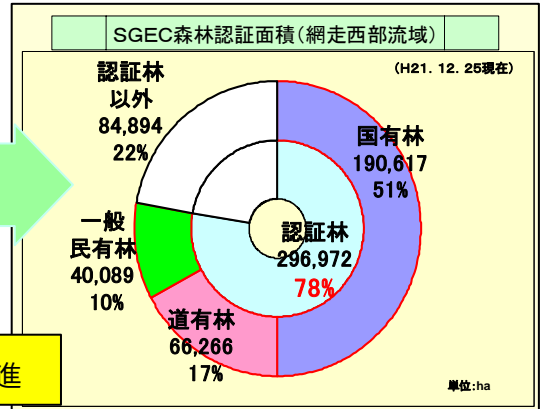
課題背景

認証取得の経過

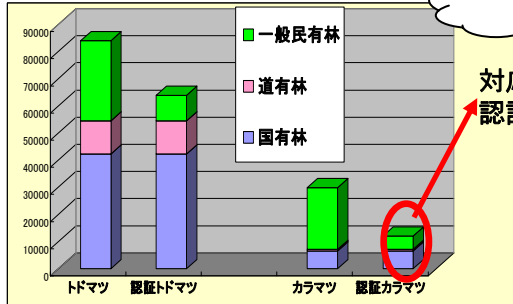
- ・紋別市内の木材業者が森林認証を取得（平成16年）
- ・大手製紙会社・企業・市有林が取得
- ・国有林・道有林が取得（平成19年）

日本最大の認証エリア（国内認証林の38%）

SGEC森林認証を活用し「地材地消」の推進



主な樹種別・所有区分別認証面積

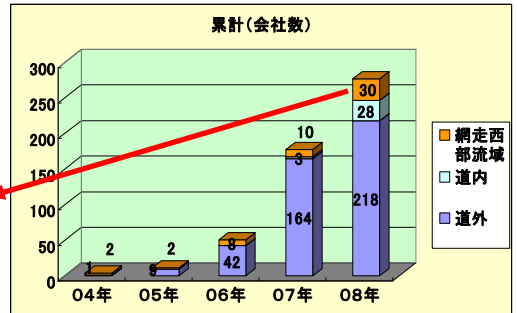


しかし

対応可能なカラマツ
認証林資源が不足

建設業の事業体が
7社と少ない

CoC認証事業体数



活動の内容

認証林取得・CoC認証取得を促進

森林認証取得の促進



CoC認証工務店等の拡大



認証材の消費拡大



成果と今後の展開

活動の成果

- 1 認証林の拡大(約15千ha)
 - ・一般民有林 約40千ha ➡ 約55千ha
 - ・カラマツ資源 約12千ha ➡ 約18千ha
- 2 CoC認証事業体の拡大
 - ・30社 ➡ 46社
- 3 地材地消の足掛かり
 - ・消費者が森林整備・木材利用に理解を深める
 - ・森林所有者・製材加工業者・工務店等の連携

地材地消の条件整備

課題と展開方法

